

あ と が き

少子高齢化が進行している現在、10年後には人口減少に伴う生産労働人口の半減が見込まれる日本の現状があります。今日、それを補うような人工知能等のテクノロジーの進化、普及により、産業構造が急激に変化し、これまでに経験したことの無い社会変動が進んでいます。このような社会状況の中、教育についても、大きく転換の時期を迎えていることを実感します。将来を見据えた生きる力の育成が求められ、子供たちが未来社会を切り開いていくために必要な資質・能力を確実に育むことが学校教育に求められています。

令和2年4月の小学校、翌年の中学校での新学習指導要領全面実施に向け、各学校では「主体的・対話的で深い学び」を視点とし「学び合い」「学びの深まり」といった学びの方法、質の深まりについての研究、実践が進められています。こうした授業改善・充実、全く新しい取組ではなくこれまで実践され、現在でも実施されている東山教育の充実に向けた取組の継続の先にあるものです。

「東山梨教育研究」も昭和38年の初刊以来、58号を数えました。これまでも、各学校、研究部会では、多くの諸先輩方が築き上げてこられた実践とその成果の上に立ち、社会背景や地域の現状を踏まえ、目の前の子供たちに必要な力を見据えた教育研究を進めてきました。今後、更なる教育活動の充実を図っていくためにも、この「東山梨教育研究」の果たす役割はますます重要なものとなることでしょう。

終わりになりましたが、「東山梨教育研究・第58号」の発刊にあたり、お忙しい折に玉稿を賜りました甲州市教育委員会教育長様、並びに東山梨教育協議会会長様をはじめ、貴重な原稿を寄せられた諸先生方、また、山梨市、甲州市両教育委員会の財政面でのご援助に対し、心より感謝申し上げます。なお、本冊子の表紙は教育協議会「図工・美術部会」の那須真奈美先生（山梨南中学校3学年 野尻空蒼^{ひがし}さんの作品「私の中にあるもの ～3つの心～」）にお願いしました。ご協力ありがとうございました。

【編集実行委員会】

甲州市教育委員会教育長	保坂 一仁
東山梨教育協議会会長	廣瀬 芳樹
山梨市教育委員会教育長	澤田 隆雄
峡東教育事務所副所長	久保田 英樹
峡東教育事務所指導主事	中村 英彦
山梨市教育委員会指導主事	古屋 雅章
甲州市教育委員会指導主事	山田 浩
東山梨教育協議会事務局次長	平山 直樹
東山梨教育協議会研究推進委員長	日野原 和貴
山梨支会研究推進委員長	若月 敬二郎
甲州支会研究推進委員長	中根 淳

発行日	令和2年4月1日
発行責任者	東山梨教育研究 編集実行委員会
編集責任者	東山梨教育研究 編集実行委員会事務局
印刷所	昭和堂印刷